富山県SDGs宣言

富山森林組合　はＳＤＧｓの達成のため、以下について取り組むことを宣言します。

当組合は、富山市域の森林の管理・整備を行っており、令和3年度の主な事業実績は、森林整備（保育）面積413.5ha、主伐面積3.1ha、木材生産量8,308㎥です。
元々、組合事業の推進＝SDGｓの推進と考えておりましたが、今回富山県SDGｓ宣言の取り組みを知り、この機会に改めて目標を設定し、事業に取り組むこととしたものです。
＜当社の経営目標＞
持続可能な森林経営の実現を目指し、地域の森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を確立する。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	【目標】 再生可能エネルギーの増加に向けて木質バイオマス発電所等への木材供給を行う。 【主な取組み】 木質バイオマス発電所等への木材納品量　令和７年度、５，０００ｔ　を目指す。	
2	【目標】 気候変動や自然災害の脅威に対して、森林整備の推進による、炭素貯蔵強化に取り組む。 【主な取組み】 森林整備の推進を図り、間伐面積を　令和７年度、１２０ha　を目指す。	
3	【目標】 持続可能な森林経営の実施を目指し、「伐って、使って、植えて、育てる」森林の循環利用を推進する。 【主な取組み】 森林の循環利用を推進するために、令和７年度、木材伐採量１２，０００m3、新植面積８ha、保育面積４００haを目指す。	

2021年 10月 21日
企業・団体名 富山森林組合
代表者名 代表理事組合長　足谷吉彦